

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272000324
法人名	社会福祉法人徳寿福祉会
事業所名	社会福祉法人徳寿福祉会陽だまりの家ひまわり
所在地 (電話番号)	〒039-3332 青森県東津軽郡平内町清水川字権十郎新田8番 (電話) 017-755-5744

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 11月 28日	評価確定日	平成 20年 2月 1日

【情報提供票より】(平成 19年 10月 25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	16人, 非常勤 1人, 常勤換算 16人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200円			

(4) 利用者の概要(10月 25日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 83.9 歳	最低	69 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ひきち内科クリニック・平内中央病院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>法人理念を念頭に毎月目標を決め、日々の実現に向け話し合いながらケアに取り組んでいる。入居者からは自然な笑顔と会話が聞かれ、入居者・職員と一緒に楽しみながら生活を送っている。ホームは街から少し離れた場所に位置するが、外出が頻繁に行われ、地域との交流が図られている。畑作り・家事作業などの日課は、個別に対応できるよう配慮されている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回、環境面での音・個別での介護計画書の反映・内服における誤薬等の指摘があったが、利用者の生活スタイルを害することなく、早急に改善の対応がされ、職員一人ひとりの意見を聞き入れ対応を行っていた。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で評価に対して取り組んでいる。前回の改善点についても外部評価実施後、管理者と職員全体で見直し、実行されていた。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は積極的に開催されている。開始したばかりのため回数は少ないが、活発な意見交換がされている。記録はファイリングされており、参加者の訪問風景写真や意見交換の内容なども詳しく記載されている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族の意見などは、面会・電話連絡などで確認できている。要望・苦情なども随時受け付け対応できている。苦情は様式が作成されておらず、ノートに書き留め回覧しているため、今後は様式を定め管理することが望ましい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>入居者の要望に応えながらケアできている。しかし、2ユニットが連なり隔たりがないため職員が自由に行き来している。個別に対応しているが、ケアの流れは業務的な印象を受ける。ユニットケアのメリットが損なわれているように感じるため、少人数ケアの利点を生かしたケアの取り組みが期待される。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型をモチーフに利用者の考え方を大切にしたい理念が掲げられている。又、利用者の方を自分自身の身内のように思い考える事で、より良いサービスの提供に努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	開設当初からの事業所独自の理念を大切に守り続け、職員が周知し取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	定期的に地域の保育園・小学校と交流が図られている。町内会の行事では、いち住民としてゴミ拾い等の取り組みに積極的に参加している。又、地域の町内会長・民生委員の方々に、在宅で暮らす認知症高齢者やその家族を地域全体で一緒に支えて行く取り組みの説明やホームを相談窓口として活用して欲しい事をアピールしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の外部評価で指摘を受けた部分は、早急に職員と相談し、改善へ繋げケアの取り組みに到っている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>サービスの質の向上を図る為に、町内会長・民生委員の方々を巻き込み、ホームの状況を説明し、様々な意見を出してもらっている。また、意見があがった時は生活の質改善に活かしている。ホームで取り組んでいる内容など随時情報提供できている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>月一度は、地域の事業所や行政等も集まる会議へ出席し有意義な情報交換がなされている。また、情報を共有しながら問題等の解決へ取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、権利擁護に類する利用者には、行政と協力しながら支援を継続している。又、権利擁護については、職員全員が知識を身につける事ができるよう勉強会を開催する等している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員一人ひとりがケアに携る際には、常に虐待防止を意識しながらケアに携っている。又、夜間は2人体制にする事で、虐待の発生防止に努め、更に職員のストレスの緩和・軽減を図っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は、疑問点を確認しながら進め分かりやすいように答えている。又、契約解除(退居)時は十分に説明を行ったうえで、次のサービスへと繋げ理解を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>利用者の状況・状態変化には、少しのことで家族へ電話で伝える事と、月一度、個別の新聞を作成し、状況を伝えている。又、金銭管理については、郵送や面会時に確認しサインを頂いている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>気軽に苦情が言える雰囲気作りや信頼関係作りに努めている。苦情が発生した際には、全職員に伝え改善策や対応策を検討しその後の経過等も家族へ伝えている。</p>		<p>苦情窓口は設けているが法人での組織図が明確化されていない為、詳細がわかる物を作成し今後のサービスに期待したい。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動・離職の際には、最低一ヶ月間の引継ぎ期間を設け、利用者・家族への影響を最小限にする配慮を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	専門知識を身につける為、内・外部の研修には積極的に足を運び、定期的な勉強会を月一度開催する等し、ケアの質の向上に努めている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町が主催するケアマネ会議に月一回出席し、各事業所のケアマネ・行政とサービスに関する情報交換等し、質の向上に努めている。又、グループホーム協会の研修や会合に参加し、情報交換を行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	在宅での生活環境や習慣等を家族から情報を得ながら、様々な工夫や対応をする事で安心した生活が送れる支援・配慮を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者本位を心がけ、楽しみ事や趣味を一緒に行いながら、信頼関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>会話の中から利用者のニーズを引き出し、希望に添えるような対応に努めている。又、意向が聞き出せない場合は、家族からの情報をもとに要望を把握している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日々の生活を観察し、変化に応じ対応している。又、常に生活全般の細かい記録を残し、情報収集に取り組んだケアを行っている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>最低3カ月に一回、確実に介護計画書の見直しを行っている。状態変化がみられる時は、その都度話し合い対応を検討している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>居室が開いている場合は、ショートステイを利用して頂けるように居宅と連絡を密にし、対応している。又、認知症の相談窓口として活用してもらうよう呼びかけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を勧めているが、あくまでも強制ではなく本人や家族の希望に出来るだけ応えるように支援している。家族が受診に付き添えない時はホームで対応し、受診結果など報告できている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事前に家族・本人の意向を確認し、重度化した場合は早期に医療機関との連携を図っている。その際は、家族・事業所間と話し合いの場を設け今後の対応を検討している。又、職員間で対応・検討・情報を共有しながら援助できている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者に対し、一人ひとりが尊厳を保ち生活できるように支援している。個人情報の取り扱いに関しては、外部へ漏らす事のないよう細心の注意をはらっている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを把握し、その人のペースで生活できるように支援している。常に利用者一人ひとりがどうしたいのかを確認し、ケアに携っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員は利用者と同じ物を一緒に食べているが、利用者が終わった後に職員が食べている為、慌ただしさが感じられる。</p>		<p>一定の利用者との食事時間の共有を図る事が出来るよう今後に期待したい。</p>
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>現在入浴は午前中に行い、午後に病院受診や外出などの予定を組んでいる。一人ひとりの要望は確認していないが希望があれば、対応できるよう努めている。</p>		<p>利用者一人ひとりの要望の確認・生活歴などから本人のペースに合った入浴時間の検討に今後期待したい。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食器拭き・洗濯物たたみ等の役割が決まっており、それぞれに意欲を持ち、進んで行っている。又、趣味を楽しむ事が出来るよう支援にも努めている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>定期的に、買い物や資源ゴミを地域の収集場所に分別しに出かけている。又、天気の良い日は散歩したりと気軽出かけられるように支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	職員全員が身体拘束の認識を持ち、束縛しない自由な生活が出来るように支援している。		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	建物周辺は車の往来が激しく、建物の裏に川が流れているため、一人で外出した場合の事を考えると、常時鍵を解放できていない。ユニット毎に時間を決め鍵を開けている。		ホールには常時職員が配置されているため、入居者が玄関に向かった時に自由に出入りできる支援を期待したい。行動を止めてはいなが、行動範囲を狭めている印象を受けるため検討が望まれる。
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	様々な想定 of 避難訓練を定期的実施している。		近隣住民がいない為の緊急時ネットワーク作りを今後検討している。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食事量・水分等のチェックを把握している。不足傾向にある利用者に関しては、時間をおき、本人が好む嗜好品を提供し栄養管理へと努めている。		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	定期的に予防接種を実施している。その他では、感染症マニュアルを作成し対応出来ているが、手洗い後の拭き取るタオルが利用者・職員共に共同の物を使用している。		手洗い後、利用者・職員共に共同のタオルを使用している為、衛生面の対応を今後期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みのタンス・テレビの持ち込みや家族の写真を飾る事で安心し、自分の空間とを感じる事が出来るよう配慮されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居説明時にホームの主旨を伝え、使い慣れたタンスなどを持ち込み環境整備できている。持ち込んでいない方もいるが、担当職員が写真や飾り物などで工夫し居心地の良い空間作りがなされている。</p>		

 は、重点項目。